

第3章

都市づくりの目標

第3章 都市づくりの目標

3-1. 上位計画・関連計画における府中市のまちづくりの考え方

- ・府中市の上位計画・関連計画ではまちづくりに関わる次のような方針が位置づけられています。

(1) 第4次府中市総合計画 基本計画（平成28年3月）

- ・府中市のまちづくりの基本的な方針として、下記のような方針が位置づけられています。

【将来都市像】

笑顔で豊かな暮らしができる府中市～支えあい みんなで創る 府中愛～

【まちづくりの基本目標】

○都市基盤づくり

- ・暮らしと産業を支える計画的な土地利用の推進（土地利用、立地適正化計画）
- ・地域拠点の整備と市街地の活性化（拠点づくり、中心市街地など）
- ・交通ネットワークの構築（道路、交通体系など）
- ・潤いある快適な住環境の整備（公営住宅の維持修繕、情報通信網など）

○生活環境づくり

- ・防災・減災の体制整備（防災のハード・ソフト面の充実、災害時対応など）
- ・潤いのある生活環境の整備（環境衛生施策、緑地整備、公園整備、空き家対策など）
- ・人にやさしいまちづくり（バリアフリー化、ユニバーサルデザインなど）

○地域資源を活用したまちづくり

- ・ものづくり産業のイノベーションへの取組（既存産業の活性化、高付加価値化など）
- ・にぎわいあふれる商業の振興（創業・起業支援、事業承継支援、関係機関・団体との連携）
- ・農林業などの活性化（農業法人育成、後継者育成、森林整備、地産地消など）
- ・地域資源を生かした観光産業の振興（観光ボランティア、観光のまちづくりなど）
- ・地域ブランドの構築とプロモーション（府中ブランドの認定、販路拡大など）

○健康地域づくり

- ・子育て支援の充実（次世代育成、子ども・子育て、母子保健など）
- ・いつまでも元気で暮らす健康づくり（保健、医療、予防、健診など）
- ・地域で支える福祉のまちづくり（高齢者福祉・介護、障害者福祉など）
- ・地域コミュニティの構築（地域福祉、ボランティア支援など）

○教育・スポーツ・文化のまちづくり

- ・小中一貫教育を基盤としたコミュニティ・スクールの充実
（小中一貫校の充実、コミュニティ・スクール、児童福祉など）
- ・多様な生涯学習のまちづくり（生涯学習、スポーツ推進、学習・活動拠点など）
- ・豊かな文化を育むまちづくり（文化財、文化振興、まちなみの整備・保全など）

など

(2) 府中市都市計画マスタープラン（平成26年12月）

・「ネットワーク型コンパクトシティ」を位置づけ、集約型都市構造の実現に向けた下記のような方針が位置づけられています。

【都市づくりの理念】魅力がぐっとつながったコンパクトシティ府中

【目指すべき都市構造】

○集約型都市構造への転換

○府中市の集約型都市構造の考え方：「中心市街地と集落市街地がつながり、主要都市とも結びつく ネットワーク型のコンパクトシティ」

【都市づくりの目標と整備方針】

○既存インフラを活用し、効率的な都市基盤整備を進めていきます

○府中市全体の生活を支える生活中心街を形成していきます

○住み続けられる集落市街地を形成していきます

○ものづくりの活気があふれる市街地を形成していきます

○都市基盤が整ったみどり豊かな基本市街地を形成していきます

○集約型都市構造のイメージ

	＜市街地の面的な縮小＞	＜ネットワーク型＞
集約型都市構造パターン		
市街地の範囲	全体を中心に向かって縮小	市街地の範囲を変えず、中心及び周辺に拠点を設け拠点間のネットワークを形成
都市施設	市街地周辺部の施設を中心市街地へ移転	中心市街地及び各地域の拠点に集積
都市基盤	市街地の周辺部については基盤維持費を削減し、縮小した市街地全域を整備	拠点間をつなぎネットワークを形成する基盤について選択的に維持・整備
将来的な居住地	集落地域など市街地周辺部について中心近くへの移住を誘導	現状の居住地に住み続けられることが前提

(3) 府中市総合戦略（平成28年2月）

- ・府中市総合戦略においては、下記の4つの基本目標が位置づけられています。

【基本目標】

- 基本目標1：「ものづくりのまち府中」の特性を生かし、安定した雇用を創出する
 - ・企業誘致、空き工場バンク、人材確保、農商工連携、販路拡大など本市の強みをさらに強化できる産業振興策を図ります。
- 基本目標2：府中市の地域資源を生かし、新しいひと流れをつくる
 - ・定住促進に向け空き家の活用や「ものづくり」と農のある暮らしをしながら、自分のやりたいことに費やす『半農半X』など多様性のある暮らし方への取組を図ります。
 - ・また、既存の観光地や備後府中焼きの活用、魅力ある観光地の発掘、ものづくり産業と連携した観光など、様々な組合せにより観光交流人口の増加を図ります。
- 基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・若者や女性の定住促進を図るため、結婚・出産・子育ての環境を整備します。未婚化、晩婚化に歯止めをかけるための施策や、子育てへの経済的負担の軽減やワークライフバランスの促進を図ります。
 - ・『子育ては府中市でしたい』と望まれる地域の実現を市民、企業、行政が一体となって取り組みます。
- 基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する
 - ・住民が安心して暮らせる生活環境を実現します。公共施設、病院、公共交通などの社会インフラの効果的、効率的な活用・整備を図り、『暮らしたい』『暮らしてよかった』という市民満足度の向上に努めます。
 - ・空き家（店舗）や遊休地の活用などに努め、移住促進につながる取組を図ります。

(4) 第二期府中市中心市街地活性化基本計画（平成25年4月）

- ・コンパクトなまちづくりにむけた拠点づくりなどが位置づけられています。

【府中市中心市街地活性化の戦略】

- コンパクトなまちづくりにおける拠点づくり
- 民間主導による活性化の推進
- ものづくり産業を中心とした産業集積基盤を活かしたまちづくり
- 中心市街地活性化による府中市全体の活性化

【基本理念】 快適に住みつづけられる集約型都市～生活中心街の育成～

【目指すべき方向性】

- 生活拠点としての中心市街地
- 「集都市街地」と「生活中心街」の結びつきの維持・強化
- 駅を中心とした利便性の高い交流拠点の形成
- 歴史・文化が息づく生活空間の形成

【基本方針と目標】

- 市民や来訪者が集い交流する中心市街地の形成・・・にぎわいの創出
- 安心して便利に歩いて暮らせる生活中心街の形成・・・歩いて暮らせる地域の形成

(5) 府中市地域医療再生計画（平成23年3月）

- ・2つの診療拠点の存続による医療提供体制が位置づけられています。

- 地域完結型の医療提供体制
（二つの診療圏域に必要な医療を提供する2診療拠点の存続と、救急医療の確保）
- 病院と診療所の連携（病院と診療所、病院と病院の連携ネットワークを推進）
- 病院の再編
（府中北市民病院と府中総合病院を市民病院に経営統合し、地域医療の中核的役割を果たす診療拠点として、（仮称）府中医療センター及び（仮称）上下医療センターを設置）

福山・府中二次医療圏



□ 2つの圏域の存在

(6) 府中市第6期高齢者保健福祉総合計画・介護保険事業計画（平成27年3月）

- ・高齢者の在宅生活の支援などが位置づけられています。

【基本理念と将来像】

○げんき ちいき ながいき ～高齢者の在宅生活を全面的に支援する府中市をめざして～

【3つの重点施策】

- げんき：健康づくり・生きがいづくりの推進、認知症高齢者への支援
- ちいき：地域包括ケア体制の強化
- ながいき：介護保険サービスの基盤整備、給付の適正化

(7) 府中市地域福祉計画（平成27年3月）

- ・子育て支援や、高齢者の在宅生活の支援などが位置づけられています。

【理念】健康を支え合うライフステージの実践

【基本目標】みんなでつくる リ・フレシティ ～だれもが元気になれるまち・府中～

■健康を支え合うライフステージの実践

- 子どもを、増やす：女性の「選択」を支援、地域で子育て、子育て支援
- 健康寿命を、伸ばす：日常的な健康づくりを支援、障害のある人の生活を支援
- 元気高齢者を、増やす：「生きがい就労」の推進、「支える人」への転換
- 最後まで、地域で過ごす：高齢者の在宅生活を支援、「支える医療」の推進

3-2. 府中市の目指す将来都市構造

- ・本計画においては、都市計画マスタープランで掲げた将来都市構造「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて、上位計画等における位置付けやこれまでの取組を引き継ぎつつ、都市機能や居住機能の誘導に向けてまちづくりを進めていきます。

□本計画で目指す都市の将来都市構造（都市計画マスタープランより）

中心市街地と集落市街地がつながり、 主要都市とも結びつくネットワーク型のコンパクトシティ

府中市の目指す「コンパクトなまち」とは、生活に必要な機能やまちの魅力がぎゅっと「集約化」され、その活力がいっそう輝きだすような、まちの質的な成長を目指すものです。また、府中市内の各地域を交通ネットワークでつなぎ、市民1人1人が住み慣れた地域に住み続けられることを尊重していくものです。



3-3. 立地適正化計画における都市づくりの目標

・本計画においては、上位計画を踏まえ、下記の4つを都市づくりの目標として掲げます。

□本計画における都市づくりの目標

